

要望書

平成 31 年 3 月 1 日

熊本市メディカルコントロール協議会 委員各位

平素より格別のご高配を賜り、誠に有り難うございます。

此の度、熊本市メディカルコントロール協議会において、以下を議題として取り上げて頂きたい、要望いたします。

<議題として要望するもの>

- ・救急科専門研修プログラム専攻医の事後検証会への随行について
 - * 検証医に随行する形での参加
 - * 発言権は有しない（オブザーバー）

<理由および背景>

・メディカルコントロールの重要性が更に増していく中で、日々病院前救護に接し、今後のメディカルコントロールを担っていくことになる救急科専攻医が、その内容を理解し、検証する能力を涵養する場が必要である。

・新専門医制度において、救急科専門プログラムでは以前より増してメディカルコントロールが重視され、専門研修の12の目標の1つとして「病院前救護のメディカルコントロールが行える」ことが挙げられている。また、地域医療・地域連携の経験について専門研修プログラムで提示すべき内容の具体例として、「地域のメディカルコントロール協議会に参加し、あるいは消防本部に出向いて、事後検証などを通して病院前救護の実状について学ぶ」ことが挙げられている。

上記に関しましてご検討頂きたい、よろしくお願い申し上げます。

病院 部